

## 第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）  
2月上旬までに上記ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～厳しい経済環境にある日本経済の外需依存構造や懸念される雇用動向について分析しています。

- 2009/2/5 [「景気悪化度合いを過小評価する景気動向指数～C Iが景気悪化を反映しきれず～」](#)
- 2009/1/29 [「日本経済の高まる外需依存度～輸送用機械依存型経済から環境技術型への展開」](#)
- 2009/1/26 [「雇用調整はこれからが本番～過去最大規模の雇用調整となる見込み～」](#)

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～毎週、市場に起きる新しい動きについてコメントしています。

- 2009/2/16 [「Market Watching Weekly Market Report」](#)（毎週月曜日配信）

掲載カテゴリ：畠峰義清の「マーケットウォッチング」

～経済危機の背後にある現象や日本の国内経済の問題点、政府紙幣の発行について分析しています。

- 2009/2/4 [「政府紙幣というアイデア～国債発行を变形させた議論～」](#)
- 2009/1/29 [「不確実性の経済学～財政・金融政策は柔軟性が重要～」](#)
- 2009/1/26 [「1人当たりGDPの「失われた10年」～日本はこのまま内需が弱いままなのか～」](#)

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～苦境に立つ欧米経済の状況、新たな局面にある中国、アジア新興国の経済情勢を分析します。

- 2009/2/2 [「中国経済：4兆元景気対策の真水は2割か～1,000億元の押し上げ効果は0.24%p」](#)
- 2009/1/23 [「中国経済：10-12月期GDPの概要～前年比+6.8%と7年ぶり低成長～」](#)
- 2009/1/19 [「米国 景気対策の行方～下院民主党案は8,250億ドルに～」](#)
- 2009/1/16 [「未曾有の景気後退によって頭をもたげ始めた「保護主義」」](#)

掲載カテゴリ：桂畑誠治の「米国経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

### 編集後記

辞書を引くと、金融で使う場合の「信用」という言葉の意味について、後日返してもらう約束でお金などの給付を認めること、というような説明がある。今回この約束が大規模に守られなくなってしまったのが金融危機である。証券化商品への投資が急速に進んだなかで、信じるに足る相手かどうかを判断する金融機関の本業ともいえる与信審査のあり方にも疑問が投げかけられた。

一方、一般的に「信用する」は、信じて受け入れること、とか、信頼できると判断すること、という意味合いで使われる。雇用調整が表面化した今、働く者と企業とで信用することの意味が問われている。かつての終身雇用、年功賃金中心の体制が変化していくなか、会社で働く人の感覚も大きく変わってきている。経営刷新や多様な就労機会が得られると同時に、従業員が将来を期待して新人に接し、後進を育てるという関係は図らずも希薄になったように思う。社会に出たばかりの若者は、教え、教えられるという関わり方すら知らされないということも起こりうる。職場で先輩や同僚から非公式に教えられた種々雑多な知識が職業人としてのいろいろなリスクに対する安全装置になってきたことを考えると、少し不安も感じる。どんなに経済環境が変わっても、人が人を育てているという実感を持つことは大切だと思う。（H. U）